

早期発見か

アルツハイマー型認知症

生活障害

見つけ方の秘訣三つ

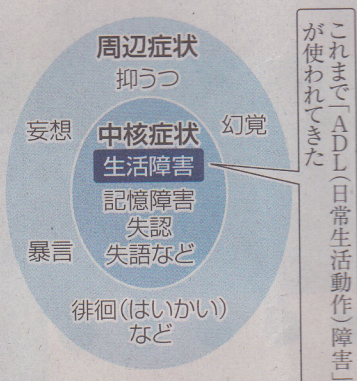
治療薬うまく使い、負担軽減

香川大医学部の中村祐教授（精神神経医学）は「アルツハイマー型認知症で『物忘れ』は受診の動機にはなっているが、実際に受診するのは『生活障害』、

つまり日常生活で困ったことが起こってからのが普通」と話す。

生活障害といってもさまざまな段階がある。都会と田舎では困り方が違う。食事や排せつ、着替え、入浴などができなくなると誰でも困るが、買い物や電話、家計管理などの細かいことなどで困るのは都会の方が早めに出てくる。例えば駅で切符を買うときの券売機の操作とか」

アルツハイマー型認知症の中核症状と周辺症状



「①「食事はいつ（取った）？」などの質問をすると、自分で答えず、すぐ同伴者の方を向いて応援を求めると、財布を見る。買い物で計算できない人は一万円札ばかり持っていたり、財布を忘れてなくす人は財布が新しい

クリニック（東京都大田区）の工藤千秋院長は「アルツハイマー型認知症は、初期段階で見つけ、早く投薬することが大事。見つけ方の秘訣は三つある」と指摘す

る。②「食事はいつ（取った）？」などの質問をすると、自分で答えず、すぐ同伴者の方を向いて応援を求めると、財布を見る。買い物で計算できない人は一万円札ばかり持っていたり、財布を忘れてなくす人は財布が新しい

る。③冷蔵庫の中をのぞく。印鑑など冷やさなくていいものや同じ物が入っていたり、しまい方がめちゃくちゃになっていたり、どれか一つでもあてはまれば認知症の可能性が高いという。

現在、アルツハイマー型

「生活障害の抑制の点から、リバステグミン（成分名）が国内臨床試験で、明らかに効果があることが分かっている」と中村教授。4葉の中では、唯一のパッチ剤（貼り薬）なので、飲み忘れることもなく、介護者の負担軽減にもなりそ

うだ。「パッチ剤でどのくらい介護者の負担が軽減するか、34例の患者で調べてみた。スタートから8週間後で平均22分、12週間後で同

35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

「パッチ剤でどのくらい介護者の負担が軽減するか、34例の患者で調べてみた。スタートから8週間後で平均22分、12週間後で同

35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

「パッチ剤でどのくらい介護者の負担が軽減するか、34例の患者で調べてみた。スタートから8週間後で平均22分、12週間後で同

35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

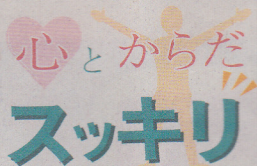
35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

35分、介護時間が短くなっていた。介護者を疲れさせない意味があると思う」と工藤院長。「認知症の治療薬は一度中断すると、患者さんは一段と悪くなるので、中断を防ぐことが大事。貼り薬の認知症薬は非常に有効で、存在意義がある」と話している。

ツツガムシ

春と初冬にピーク 発生率高い県内

「つつがなく事が運ぶ」という言い方がある。この「つつが」とは「恙」と書き、病気や災害を表す。ツツガムシの害を語源とする説もあるが、そのつではない。むしろ、ツツガムシという呼名が「途轍もない厄災をもたらす虫」といったニュアンスで付けられたのではないかと思われる。ツツガムシは、リケッチ



アという病原体を媒介するダニである。リケッチアに感染すると高熱を発し、重症例では死に至る。戦前は阿賀野川や最上川流域の河川敷に多く生息していたため、風土病として恐れられていた。が、現在では報告例がない。しかし別種のツツガムシは、リケッチ

福島学院大准教授

梅宮 れいか

